

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月13日
【四半期会計期間】	第8期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社グリムス
【英訳名】	gremz, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 政臣
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー19階
【電話番号】	(03) 5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー19階
【電話番号】	(03) 5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第1四半期連結 累計期間	第8期 第1四半期連結 累計期間	第7期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	1,082,441	1,129,297	4,365,835
経常利益又は経常損失( )(千円)	171,178	39,555	300,546
四半期(当期)純利益又は純損失( )(千円)	97,479	49,719	86,805
四半期包括利益又は包括利益(千円)	97,155	49,719	81,805
純資産額(千円)	1,283,124	1,170,843	1,270,130
総資産額(千円)	2,044,374	2,372,112	2,564,960
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )(円)	57.70	29.10	51.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	55.67		49.69
自己資本比率(%)	62.5	49.4	49.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	225,498	60,707	263,154
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	41,284	51,833	494,918
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	262,773	83,425	608,614
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,205,032	938,928	1,134,895

- (注) 1. 第8期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務危機を巡る不確実性や世界景気の減速感、円高の長期化などにより、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、収益基盤の強化という2012中期経営計画の基本方針に基づき、高成長追求事業であるグリーンハウスプロジェクト事業及びウォーターサーバー事業と、安定収益事業であるエネルギーコストソリューション事業をそれぞれ推進してまいりました。グリーンハウスプロジェクト事業につきましては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度や補助金の交付等の政府主導の施策による市場拡大を見込み、太陽光発電システムの販売拡大を進めてまいりました。ウォーターサーバー事業につきましては、サーバーのデザイン性向上や容器の利便性向上などによる宅配水の個人向け需要の拡大により、積極的に販売拡大を進めてまいりました。エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力料金の削減といった潜在的なコスト削減ニーズに対応したコンサルティング営業を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,129百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業損失41百万円（前年同四半期は170百万円の利益）、経常損失39百万円（前年同四半期は171百万円の利益）、四半期純損失49百万円（前年同四半期は97百万円の利益）となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### 〔グリーンハウスプロジェクト事業〕

株式会社グリムスソーラーは、太陽光発電システムの販売を行うグリーンハウスプロジェクト事業を行っております。グリーンハウスプロジェクト事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において「京セラソーラーFC岐阜北」を新規出店し、販売エリアを東日本中心から中部圏へ拡大しております。また催事場での顧客開拓を活用するなど積極的な営業展開を図り、売上高は645百万円（前年同四半期比68.4%増）、営業利益は35百万円（前年同四半期は17百万円の損失）となりました。

#### 〔ウォーターサーバー事業〕

株式会社グリムスプレミアムウォーターは、ミネラルウォーターの宅配を行うウォーターサーバー事業を行っております。ウォーターサーバー事業につきましては、催事販売を中心とした営業展開を図り、販売エリアを拡大し、売上高は130百万円、営業損失は25百万円となりました。

なお、株式会社グリムスプレミアムウォーターは前第1四半期連結累計期間に設立いたしました。ウォーターサーバー事業につきましては前第2四半期連結会計期間から事業を開始しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

#### 〔エネルギーコストソリューション事業〕

株式会社GRコンサルティングは、電力基本料金削減コンサルティングを行うエネルギーコストソリューション事業を行っております。エネルギーコストソリューション事業につきましては、営業社員の育成が遅れたことにより、受注は低調に推移し、売上高は352百万円（前年同四半期比49.6%減）、営業利益は53百万円（前年同四半期比81.6%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首残高より195百万円減少し、938百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は60百万円（前年同四半期は225百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少60百万円による資金の増加、法人税等の支払111百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は51百万円（前年同四半期は41百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出70百万円並びに敷金及び保証金の差入による支出10百万円による資金の減少、敷金及び保証金の回収による収入32百万円による資金の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は83百万円（前年同四半期は262百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出38百万円、配当金の支払46百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	1,742,700	1,742,700	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
計	1,742,700	1,742,700	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		1,742,700		387,065		126,293

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 37,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,705,100	17,051	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定のない当社における標準の株式
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	1,742,700		
総株主の議決権		17,051	

(注) 上記の「単元未満株式」には、当社所有の自己株式が12株含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社グリムス	東京都品川区東品川二丁目2番4号	37,400		37,400	2.15
計		37,400		37,400	2.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,134,895	938,928
売掛金	422,550	362,025
商品	25,121	34,502
前払費用	42,332	45,106
未収還付法人税等	73,466	73,466
未収消費税等	73,832	87,558
繰延税金資産	23,327	26,875
その他	35,680	6,946
流動資産合計	1,831,207	1,575,408
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	95,757	89,671
車両運搬具(純額)	2,020	29,055
工具、器具及び備品(純額)	201,780	235,201
建設仮勘定	12,660	24,989
有形固定資産合計	312,219	378,917
無形固定資産		
のれん	141,216	133,816
ソフトウェア	90,427	83,821
無形固定資産合計	231,643	217,637
投資その他の資産		
投資有価証券	30,030	30,030
長期前払費用	2,228	2,416
敷金及び保証金	155,394	163,279
繰延税金資産	2,197	4,372
その他	40	50
投資その他の資産合計	189,890	200,148
固定資産合計	733,753	796,703
資産合計	2,564,960	2,372,112



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	268,781	293,016
短期借入金	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	176,160	187,160
未払金	160,386	209,680
未払法人税等	111,969	7,669
未払消費税等	57,188	10,304
預り金	17,224	26,315
引当金	-	5,800
その他	11,519	15,481
流動負債合計	928,229	880,428
固定負債		
長期借入金	348,940	299,400
資産除去債務	13,726	11,558
その他	3,933	9,882
固定負債合計	366,599	320,841
負債合計	1,294,829	1,201,269
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,065	387,065
資本剰余金	126,293	126,293
利益剰余金	792,052	682,768
自己株式	35,279	25,283
株主資本合計	1,270,130	1,170,843
純資産合計	1,270,130	1,170,843
負債純資産合計	2,564,960	2,372,112

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,082,441	1,129,297
売上原価	401,617	594,308
売上総利益	680,823	534,989
販売費及び一般管理費	510,715	576,818
営業利益又は営業損失( )	170,108	41,828
営業外収益		
受取利息	144	102
受取手数料	919	1,302
解約手数料	15	1,442
受取保険金	-	866
その他	436	86
営業外収益合計	1,515	3,801
営業外費用		
支払利息	445	1,527
営業外費用合計	445	1,527
経常利益又は経常損失( )	171,178	39,555
特別損失		
固定資産除却損	-	962
事務所移転費用	-	8,457
特別損失合計	-	9,420
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	171,178	48,975
法人税、住民税及び事業税	40,451	6,467
法人税等調整額	33,570	5,723
法人税等合計	74,022	743
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	97,155	49,719
少数株主損失( )	323	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	97,479	49,719

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	97,155	49,719
四半期包括利益	97,155	49,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,479	49,719
少数株主に係る四半期包括利益	323	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	171,178	48,975
減価償却費	11,026	23,768
長期前払費用償却額	147	210
のれん償却額	-	7,399
受取利息	144	102
支払利息	445	1,527
固定資産除却損	-	962
移転費用	-	8,457
売上債権の増減額( は増加)	53,375	60,525
たな卸資産の増減額( は増加)	3,960	9,380
未収消費税等の増減額( は増加)	-	13,725
その他の流動資産の増減額( は増加)	3,376	3,353
仕入債務の増減額( は減少)	57,148	24,235
未払金の増減額( は減少)	2,160	26,887
未払消費税等の増減額( は減少)	12,714	46,883
引当金の増減額( は減少)	-	5,800
その他の流動負債の増減額( は減少)	4,822	14,444
その他	3	173
小計	305,541	51,971
利息の受取額	42	0
利息の支払額	810	1,456
法人税等の支払額	79,275	111,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,498	60,707
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	24,792	70,810
無形固定資産の取得による支出	11,628	152
敷金及び保証金の差入による支出	5,274	10,759
敷金及び保証金の回収による収入	449	32,086
貸付金の回収による収入	358	133
その他	396	2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,284	51,833

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（は減少）	200,000	-
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	-	38,540
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,530	-
自己株式の処分による収入	-	1,590
配当金の支払額	43,756	46,475
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	5,000	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>262,773</b>	<b>83,425</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	446,987	195,966
現金及び現金同等物の期首残高	758,045	1,134,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,205,032	938,928

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	1,205,032千円	938,928千円
現金及び現金同等物	1,205,032千円	938,928千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	50,535	30	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	51,158	30	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	グリーンハウス プロジェクト事業	エネルギーコスト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	383,667	698,773	1,082,441		1,082,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	383,667	698,773	1,082,441		1,082,441
セグメント利益又は損失( )	17,064	290,315	273,251	3,223	270,027

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第1四半期累計期間に新たに開始したウォーターサーバー事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,251
「その他」の区分の利益	3,223
全社費用(注)	99,919
四半期連結損益計算書の営業利益	170,108

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	グリーンハウス プロジェクト事業	ウォーターサーバー 事業	エネルギーコスト ソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	645,936	130,999	352,362	1,129,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	645,936	130,999	352,362	1,129,297
セグメント利益又は損失( )	35,135	25,557	53,550	63,127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,127
全社費用(注)	104,956
四半期連結損益計算書の営業損失( )	41,828

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間において「その他」に含まれていたウォーターサーバー事業について、前連結会計年度において量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間の報告セグメントに相違があります。

前第1四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	グリーンハウスプロジェクト事業	ウォーターサーバー事業	エネルギーコストソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	383,667		698,773	1,082,441
セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	383,667		698,773	1,082,441
セグメント利益又は損失( )	17,064	3,223	290,315	270,027

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,027
全社費用(注)	99,919
四半期連結損益計算書の営業利益	170,108

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	57円70銭	29円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	97,479	49,719
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	97,479	49,719
普通株式の期中平均株式数(株)	1,689,530	1,708,409
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	55円67銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	61,501	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要		

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月13日

株式会社 グリムス  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	都甲 孝一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若尾 慎一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木下 洋

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリムスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリムス及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。